

SCENE 1

救急医療緊急アピール 守ろう救急医療 救おう大切な命



左から藤田剛二市長、篠崎圭二宇部市長、篠田洋司美祢市長

宇部・小野田保健医療圏の救急医療体制がひっ迫していることから、5月2日、宇部市役所で宇部市・山陽小野田市・美祢市の市長ら8人が一堂に会し、緊急アピールを実施しました。高齢化等を背景に救急搬送件数は増えている一方、救急医療に携わる医師は不足しており、救急医療体制の維持が困難な状況であるため、圏域の市民に協力を訴えました。

【アピール内容】

- ✓ 普段から「かかりつけ医」を持ち、緊急時の相談をしておきましょう
- ✓ 緊急性のない夜間受診はやめ、できるだけ日中の時間帯に受診しましょう
- ✓ 救急車を呼ぶか迷ったときは、救急医療電話相談窓口 #7119 (おとな) ・ #8000 (子ども) を利用しましょう
- ✓ あわてず考えて、救急車は緊急性がある時だけ適正利用しましょう

SCENE 2

わがまち魅力発信隊 広島で山陽小野田市の魅力をPR

わがまち魅力発信隊が4月21日、MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島でガラス体験教室や市の名産品販売などを行い、山陽小野田市の魅力を発信しました。3回表終了後には、市のPR動画が放映され、スタジアム中に「スマイルシティ山陽小野田」のフレーズが響きました。



バックモニターで市PR動画を放映



左から地域おこし協力隊林茂夫隊員、川上地区ゆめプラン協議会山本晃会長、川上地区自治連合会村上邦秀会長、藤田市長、古川博三副市長

SCENE 3

東京の学生が協力 川上地区イメージロゴマーク決定

林隊員の取り持つ縁をきっかけに、東京表現高等学院 MIICA の卒業生を含めた6人がロゴ作成に取り組み、市役所で4月22日に発表しました。ロゴのコンセプトは「めぐみ・ほほえみ・かわかみ」で、学生は「見た人の記憶に残り、川上地区を知ってもらうきっかけになれば」と期待を語りました。